

FY2023 実績及び進捗

重要課題

重要課題		トラッキング指標	FY2030 目標	FY2023 実績
<b>■ 企業を構成する主要な要素</b>				
企業像	・ いかなる環境変化やリスクによっても進化する強い「生命力のある企業」となっている ・ 全企業活動を通じサステナブルな社会の実現に貢献する企業となっている			
事業像	・ 「Kiru・Kezuru・Migakuの探究ならばディスコ」と先端技術に携わる人々から認められている ・ バリューチェーンにおいて環境負荷の低減が徹底されている	・ 顧客満足度 (CS) 調査 該当設問の肯定回答率  気候変動への対応 ・ 中期目標 : 2030年度までの自社操業に関連するカーボン排出量(Scope 1 + 2) ・ 長期目標 : 2050年度までのサプライチェーン全体のカーボン排出量(Scope 1 + 2 + 3)	80%以上  カーボン ニュートラル達成	87.6%  排出量 Scope 1 + 2 41,967 t-CO2 Scope 1 + 2 + 3 1,127,758 t-CO2
経済像	企業の成長を支える十分な経済的「能力と構造」を持っている	・ 4年累計連結売上高経常利益率 ・ 4年累計連結RORA	20%以上 20%以上	37.0% 45.2%
社会的評価像	ディスコの名前は良い印象を伴って社会に知られている	・ 自社のサステナビリティ推進に関するメディア記事掲載件数	3件/年	13件
組織像	変化に速やかに対応出来るシンプルかつ有機的な組織になっている  ・ 不正に対して強い自浄力を持っている	・ 改善による年間の構造的経費削減率 (前年度対比) ・ Will会計上の部署ごとの生産性 (収支÷総人件費) が1.0以上の部署 ・ コンプライアンス社内教育受講率 ・ 社内通報窓口への通報に対する対応率 又は 解決率 ・ 従業員満足度(ES)調査 該当設問の肯定回答率	5%以上 80%以上 100% 100% 80%以上	5.9% 94.8% 100% 100% 97.3% ※1
人的資源像	ディスコの価値観に共感、共有し、実践する人びとの集まりである	・ 「DISCO VALUES」のワークショップ型研修受講率 ・ 従業員満足度(ES)調査 該当設問の肯定回答率	95%以上 80%以上	99.8% 94.0% ※1
文化像	文化が「人」を育て「人」が文化を良性化している ・ 互いの多様性を認め、活かし合う文化になっている	・ 従業員満足度(ES)調査 該当設問の肯定回答率 ・ ダイバーシティに関する社内教育受講率	80%以上 100%	95.3% ※1 100%
<b>■ ステークホルダーとの関係性</b>				
従業員	・ 言いたいことが言い合える真の仲間が集う職場づくり ・ ライフタイム・ワークライフバランスの実現しやすい環境づくりと貢献に応じた報酬制度 ・ 健康・安全・安心に配慮した環境づくり	・ 従業員満足度(ES)調査 該当設問の肯定回答率	80%以上	83.9% ※1 78.9% ※1
顧客	・ 瞬発的対応力による高い満足の実現 ・ 面倒くささを感じさせないサービスの実現	・ 顧客満足度 (CS) 調査 該当設問の肯定回答率	80%以上	96.2% ※1 91.3% 89.3%
株主	卓越した生命力の維持と継続的な進化  誠実かつ良質なガバナンスの実現と継続的向上	・ 期末現預金により予定必要資金が確保され実質無借金である ・ 余剰キャッシュにより、追加配当が継続して実施できている ・ 新規ユニークプロセスのリリース件数 ・ 消耗品ビジネス 連結売上高 ・ 取締役会実効性評価 総合評価 6点満点中 ・ 代表執行役評価委員会による代表執行役の適正性の評価結果 6点満点中 ・ 2029年度末までに認識したサステナビリティ課題への対応率	1件/3年 1,700億円 5点以上 5点以上 100%	達成中 達成中(継続実施) 4件 789億円 6点 6点 42.5% ※2
取引先	・ 必要時における最優先関係が構築されている ・ サステナブルな社会の実現に向け課題を共有している	・ 取引先満足度(SS)調査 該当設問の肯定回答率 ・ サステナビリティ調達方針の共有率 (調達額ベース) ・ サステナビリティ調達方針への合意率 (調達額ベース)	80%以上 95%以上 90%以上	97.7% 73.1% 63.6%
地域社会	・ ディスコらしい地域貢献 ・ 地域文化の尊重	・ 拠点ごとの個別の課題達成率	90%以上	施策推進中

※1 複数の設問に対する肯定回答率の平均値

※2 1件/3年のリリースを目標としており、2020年以降リリースした件数を記載しております。

環境ビジョン

重要課題		トラッキング指標	目標	FY2023 実績
気候変動	温室効果ガスの低減が徹底されている	・ディスコの事業活動における温室効果ガス排出量	カーボン ニュートラル達成 Scope 1 + 2 (2030年まで) Scope 1 + 2 + 3 (2050年まで)	排出量 Scope 1 + 2 41,967 t-CO2 Scope 1 + 2 + 3 1,127,758 t-CO2
水資源	ディスコグループにおける水資源の有効活用	・リサイクル率	90%以上 (2040年まで)	45.4%
資源循環	資源の有効活用	・廃棄物のリサイクル率 ※ 本社及び生産拠点	2年連続100% (2030年まで)	99.53%
生物多様性	自然環境への負荷低減	・サプライチェーンを含む環境負荷の調査把握率	99%以上 (2025年まで)	施策推進中
		・サプライチェーンを含む環境負荷低減策の実施率	調査結果に基づき設定	-
化学物質 汚染予防	・環境事故の防止	・環境事故及びそれにつながるヒヤリハットの発生数	2年連続ゼロ (2030年まで)	環境事故：1件 環境ヒヤリハット：4件
	・製品の生産及び使用における環境被害の防止	以下法令*における遵守率 ・ EU RoHS指令 ・ EU REACH規則 ・ EU POPs規則 ・ 米国 TSCA法 ・ 中国 RoHS ・ 日本 化審法	100% (2027年まで)	施策推進中

\* 上記以外の法令については個別対応致します